

4月  
新刊

## 新しい概念から出発する、音楽理論

本書は、「間文化性(Interculturality)」という概念を出発点とし、著者それぞれの立場から音楽をめぐる現象や作品を分析し、その背後にある思想や社会を読み解いていく試みである。

# 間文化性から 音楽を考える

【編著】  
安川智子  
Yasukawa, Tomoko  
藤田茂  
Fujita, Shigeru

【コンサルティング・エディター】  
エヴェレット宇野弥生  
Yoshi Ueno Everett  
長木誠司  
Choki, Seiji

20世紀音楽をめぐる批評と分析

【著者】  
ラッセ・レहतネン  
Lasse A. Lehtonen  
チョウエリ(張恵玲)  
Cheung Wai Ling  
\*エッセイ  
星谷丈生  
Hashiya, Takeo  
阿部海太郎  
Abe, Umataro  
\*コラム  
太田郁  
Ota, Kōji  
鄭曉麗  
Zheng, Xiaoli  
松橋輝子  
Matsubashi, Kiko  
石原勇太郎  
Ishihara, Yutaro



音楽之友社

# 間文化性から 音楽を考える

## 20世紀音楽をめぐる批評と分析

序章 間文化性とは—Q&A

第1部 歴史・前兆—日本の作曲家たちの間文化性

第1章 モダニティ(近代)の多様性—橋本國彦の戦前の 歌曲と「舞」

第2章 ドビュッシーから平尾貴四男へ—ペンタニックの和声理論化にみる  
間文化性

第2部 思想・前提—オリエンタリズムから間文化性へ

Interlude(間奏曲) 間文化性と音楽をめぐる理論と概念

第3章 オリエンタリズムと「蝶々夫人」

第3部 間文化的分析—メシアン・武満徹・細川俊夫の事例を通して

第4章 メシアンの「復活」音楽における日本の雅楽と中国の祭祀賛歌

第5章 擬態される「間文化主義」—オリヴィエ・メシアンと武満徹の自己批評  
言説の検証を通して

第6章 細川俊夫の音のコスモロジー(音宇宙)

\*エッセイ

\*コラム

■本書に登場する基本用語

■人名索引・事項索引

A5 判 192頁

予価 2,860円(本体2600円+税10%)

ISBN 978-4-276-10108-1

【編著】

安川智子

藤田茂

【コンサルティング・エディター】

エヴェレット宇野弥生

長木誠司

【著】

ラッセ・レहतネン

チョウエリ(張恵玲)

既刊

近代日本と  
西洋音楽理論

グローバルな理論史に向けて



近代日本における  
西洋音楽の受容と交流の過程

## 近代日本と 西洋音楽理論

グローバルな理論史に向けて

定価 2,970円(本体2700円+税10%) A5 判 192頁 ISBN 978-4-276-10104-3

BOOKCELLAR

のご注文も可能です。  
PC・スマホからいつでも  
ご発注いただけます。  
ご利用ください。



(貴店名・帳合)

(注文)

四月  
新刊

冊

### 間文化性から音楽を考える

安川智子/藤田茂【編著】

A5 判 192頁 ISBN 978-4-276-10108-1

予価 2,860円(本体2600円+税10%)

既

刊

冊

### 近代日本と西洋音楽理論

西田紘子/仲辻真帆【編著】

A5 判 192頁 ISBN 978-4-276-10104-3

定価 2,970円(本体2700円+税10%)

→ ご注文: FAX 03-3235-2148

(株)音楽之友社/営業部 TEL.03-3235-2151